

平成25年度 単位施策評価表

所属 37200000
教育委員会 学校教育課

施策	5102 豊かな心及び健やかな体の育成						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	無	
対象	市内小・中学生						
単位施策目的	道徳教育の充実、人権教育の推進、いじめ“0”（ゼロ）を目指した対策の推進、体力の向上、食育の推進等を図る。						
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児数の出現率 新体力テストの全国平均値に対する本市平均値 児童生徒に対する食に関する指導回数 						
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	1.00	1.00	1.00	1.00	
		実績	0.93				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	単位コスト						
	成果指標3 [回]	予定	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		実績	3,194.00				
	単位コスト		477.28				
	成果指標4 []	予定					
		実績					
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	1,716,691		0	0	0	
	実績	1,524,431		0	0	0	
内部評価	貢献度	上位基本施策の目標である「保護者の学校教育に対する満足度」の向上には、いじめゼロ対策や食育の推進などが必要であり、本単位施策の貢献度は高い。					
	達成状況	新体力テストの結果は出ていないが、不登校出現率、食に関する指導回数の結果から成果指標の満足度は達成できるものとする。					
	課題	新体力テストの結果を待つとともに、食育の推進のため、指導回数以外の達成度把握方法を検討する必要がある。					
	取組方針	食育について、アレルギー対応や給食残食率の減少に向けた改善策を進めていく。					
外部評価	<p>単位施策が目指すいじめゼロの対策や体力の向上、食育の推進は、関連事業の達成状況などから概ね良好であると評価できる。</p> <p>適応指導教室については、各教室での復帰率にばらつきがあるものの達成状況は評価できるものであり、引き続き不登校児生徒の減少を目指し充実を図ること。</p> <p>体力の向上については、体力テストの結果を基にさらに取り組みを強化すること。また、成果指標である体力テストの結果については毎年度公表できるよう改善すること。</p> <p>食育の推進については、食に関する指導回数が目標値を大幅に上回る実績となっているので目標値の見直しを行い引き続き取り組みを推進すること。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	518602	大平学校給食センター整備事業費				286,649	100
	522601	南小学校配膳室整備事業費				10,256	100
	530501	小学校障がい児教育振興事業費				1,052	100
	534201	適応指導教室運営事業費				8,412	100
	534202	適応指導教室（あじさい教室）運営事業費				6,159	100
	534203	適応指導教室（わたらせ教室）運営事業費				5,444	100
	534204	適応指導教室（すずかぜ教室）運営事業費				1,576	100
	540101	小学校保健事務費				58,911	100
	540501	中学校保健事務費				29,624	100
543101	学校給食事務費				26,175	100	

事

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	100103	予算科目コード	534202	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	5102	主	学校教育の充実	基本施策	単位施策	豊かな心及び健やかな体の育成
事業名	適応指導教室(あじさい教室) 運営事業費																
担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育担当 指導チーム																
係担当	三谷 誠																
事業の性質	2 自治事務 根拠法令等																
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入)</p> <p>不登校児童生徒及びその保護者に対する適応指導教室「あじさい教室」を整備・充実することにより、適応指導支援や教育相談を行う適応指導教室「あじさい教室」を運営し、学校への復帰を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。</p> <p>【主要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教育相談員 1名 ・教育相談員 1名 ・臨時教育相談員 2名 																

達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) 適応指導教室「あじさい教室」を運営し、学校への復帰を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。 100%
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童数の出現率 ・不登校児童生徒に対する本市平均値 ・不登校児童生徒に対する食に関する指導回数

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算算込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特財	0	0
一般財源	5,152	5,034
事業費 a	5,152	5,034
人件費 b	1,125	1,125
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	6,277	6,159
結果指標 1	480.00	480.00
結果指標 2	85.00	85.00

事業費指標の推移	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	指標名	算出方法	単位							
	教育相談件数	適応指導教室への来室・電話件数+学校・家庭訪問件数 H25年度 目標：480件	件							
	学校復帰率	学校復帰生徒数(完全+部分)÷適応指導生徒数×100 H25年度 目標：85%	%							

(改善内容とその効果を具体的に記入)
 不登校児童生徒及びその保護者に対する適切な支援指導を行う為、必要な事業である。「あじさい教室」により、不登校児童生徒の学校への復帰を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。

事業評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	100103	予算事業コード	534203	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策	
事業名	適応指導教室（わたらせ教室）運営事業費															
担当部署	教育委員会 学校教育課 学校教育担当 指導チーム															
担当者	三谷 誠															
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等													
事業の概要	<p>（事業完了（事業期間のない事業は平成30年度）までの、趣向を、どうするか、対象、手段の記入）</p> <p>不登校児童生徒及びその保護者に対する適応指導支援や教育相談を行い、不登校児童生徒の学校への復帰を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。</p> <p>・ 学校教育指導員3人が週3日の勤務で5日間開設し、児童生徒の指導や教育相談を行う。</p> <p>・ 予算は、月額報酬は1人124,200円、他に研修会旅費、指導用教材費、事務用電</p> <p>料等を計上。</p> <p>（主要事業）</p>															

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特財	0	0
一般財源	4,560	4,694
事業費 a	4,560	4,694
人件費 b	750	750
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	5,310	5,444
結果指標 1	500.00	500.00
結果指標 2	50.00	50.00

事業の内容	その成果
<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒及びその保護者に対する適応指導支援や教育相談を行い、不登校児童生徒の学校への復帰を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。（週5日開設） 学校教育指導員3人、週3日勤務 研修会の参加 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒及びその保護者に対する適応指導・支援や教育相談を行う。 適応指導員3名の配置 【成果】 学校・保護者との連携を十分に図ることで、通級児童生徒への支援が充実した。

算出方法	単位	件	%
適応指導教室への来室・電話件数+学校・家庭訪問件数	件	100	100%
目標：500件			
学校復帰率	%	100	100%
目標：50%			

（改善内容とその効果を具体的に記入）

学校へ復帰する児童生徒の増加を目指し、多様化する通級児童生徒及び保護者に対応するため、指導員が3名に増えたことにより週5日開設できたが、単独の教室として物的な整備充実を図る必要がある。現在わたらせ教室は藤岡公民館に間借りしているため、教室としての形態をなしていない。場所について検討する必要がある。

事後評価

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	一般	款項目 100103	予算係数コード 534204	事業区分	01 経常的事業	新規/その他	2 その他	基本施策	単位施策
事業名	適応指導教室 (すずかぜ教室) 運営事業費		学校教育課	指導チーム	担当者	三谷 誠	主	5102 学校教育の充実	豊かな心及び健やかな体の育成
担当部署 係・担当者	2 自治事務		根拠法令等						
事業の性質	事業期間 H24 ~ H26 年度 全体事業費 (人件費除) 1,532 千円								
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の記入) 適応指導教室を運営し学校への復帰支援を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。 1003 達成目標 ・不登校児童数の出現率 ・新体力テストの全国平均値に対する本市平均値 ・児童生徒に対する食に関する指導回数								

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特財	0	0
一般財源	1,506	1,501
事業費 a	1,506	1,501
人件費 b	75	75
減価償却費 c	0	0
総事業費 a+b+c	1,581	1,576
結果指標 1		670.00
結果指標 2		65.00

事業費・指標の推移	平成24年度	平成25年度
事業の内容	適応指導教室を運営し学校への復帰支援を図り不登校児童生徒の減少を目指す。	【事業の内容】 不登校児童生徒及びその保護者に対する適応指導・支援や教育相談を行う。 【成果】 学校・保護者との連携を十分に図ることで、適応児童生徒への支援が充実した。
その成果		

指標名	算出方法	単位
適応指導教室への来室・電話件数 十学校、家庭訪問件数	教育相談件数 H25年度目標：400件	
学校復帰児童生徒数(完全・部分) ÷適応指導児童生徒数×100	学校復帰率 H25年度目標：50%	
事業の事後評価	妥当性 妥当	コスト削減の余地 有
	受益者負担 適正	類似事業の有無 有
	上位貢献度 有効	成果向上の余地 有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 適応指導教室を運営し学校への復帰支援を図り、不登校児童生徒の減少を目指す。 平成26年度より週5日に開設日を増やすことにより、相談体制のさらなる充実を図る。
事業費見当	

事業

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	100603	予算コード	543201	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	学校給食事業費												
担当部署	教育委員会 学校教育課 学校給食チーム												
担当部署長	金子充孝												
事業の性質	2	自治事務	相模法令等										
事業の概要	<p>(事業終了(事業期間の終了)は平成30年度)までに、誰(向)を、どう(方)法で、どう(し)たいのか、対象、手段の記入)</p> <p>児童生徒の健全な育成に寄与するため、安全安心でおいしい給食を提供する。</p> <p>併せて地産地消および食育の推進を行う。</p> <p>【主要事業】</p>												
主	5102	学校教育の充実											
従													
事業期間	H18 ~ H29		年度										
全体事業費(人件費除)	8,732,593千円												

達成目標	1002	(事業終了(事業期間の終了)は平成30年度)までに、誰(向)を、どう(方)法で、どう(し)たいのか、対象、手段の記入)
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童の出退率 新体力テストの全国平均値に対する本市平均値 児童生徒に対する食に関する指導回数 	

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他財源	614,202	611,216
一般財源	138,807	119,647
事業費 a	753,009	730,863
人件費 b	129,000	129,000
減価償却費 c	0	0
総事業費 a+b+c	882,009	859,863
結果指標 1	196.00	196.00
結果指標 2	100.00	100.00

事業の内容	安全で美味しい学校給食の安定供給
その成果	<p>安全で美味しい学校給食の安定供給・老朽化した調理機器等の更新・地産地消の推進・食育の推進</p> <p>安全安心な学校給食を安定的に供給した。地場産物を利用した献立により地産地消を推進し、各小学校で食育に取り組み、子どもたちと共に、食の正しい知識や食文化に関心をもち、生産に関わる人々への感謝の気持ちを育んだ。</p>
指標名	算出方法
給食実施日数	年間給食実施回数
年間安定供給実施日数	年間安定供給日数÷年間給食実施日数
結果指標 1	日
結果指標 2	%

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 安全で美味しい学校給食を安定的に供給した。地場産物を利用した献立により地産地消の推進し、「食に関する指導アイデアシート集」や「ちよこっと食通信」を活用し、各小学校で食育に取り組んだ。																								
事後評価	<table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>妥当</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>無</td> <td>受益者負担</td> <td>適正</td> <td>上位貢献度</td> <td>有効</td> <td>類似事業の有無</td> <td>無</td> <td>成果向上の余地</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td colspan="12">事業の事後評価</td> </tr> </table>	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	事業の事後評価											
妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有														
事業の事後評価																									

